

## ガスの中、五竜岳へ

岩井 淑

またもや雨中の登山となる。

10日前の白馬岳登山も雨中登山であったがまたしてもである。

八方尾根にはゴンドラリフト『アダム』が架かっており、アルペンリフト、ロマンスペアリフトと乗り継ぐとあっという間に第1ケルンが建つ1800mまで登ってしまう。すごい手抜きと思いつつも便利になったなぁと思う。

第1ケルン、第2ケルン、第3ケルンと高度をかせいでいくが、周りは依然としてガスのなかであり、八方池から望む不帰ノ嶮のすばらしい展望も見られずしまいである。

丸山ケルンを越えいよいよ岩稜地帯へと進んでくる。途中、小学1年生位の男の子とアイザレンしている親子とすれ違った時、何でこの程度のところでと思っていたのだが、登るにつれて滑落注意の場所が結構ででくる。なるほどなと思う。

山荘まで5分という標識を過ぎてまもなくドラムカンが目にとまり、唐松岳山頂小屋の横へ飛び出す。

朝食、昼食を兼ねての食事を摂ることにし、カロリーメイトをつまみに水割りを2杯飲む。これが食事かと我ながらあきれが雨に冷やされた体にしばしアルコールの酔いがしみ込む。30分程休憩していると雨が止んだ。唐松岳山頂は小屋から20分のところにある。登頂を再開する。小屋の横斜面には高山植物の女王・コマクサがピンクのかわいい花を咲かせる。

風が強い。山頂に登っても展望はない。すぐ引き返すことにする。

小屋に預けてあったザックを担いで五竜山荘へ向けて出発する。唐松山荘から大黒岳を通過して五竜山荘までは稜線伝いであり、大黒岳では岩ももろく常に滑落に注意しながらの前進となる。それに風が強い。バランスを崩すとそのまま落ちていかれてしまうくらいだ。

足元にチョロチョロ動くものがある。ン?と見るとネズミである。ばかにちいさいなあと思いながら捕まえてポケットのなかへ。

五竜山荘で宿泊の手続きをしながらポケットから捕まえてきたネズミを出すと、「ヤマネかな。いやヒメネズミだよ。こりゃあ。冬になるとこいつが悪さをして小屋の米を荒らし回るんだ。今時分は岩影や小枝の間をちょろちょろしているね。それにしてもお客さんはよく噛まれないね」としきりに感心する。小屋前の草むらの中に放してやる。

山小屋では早寝、早起き、早発ちが原則であり、小屋に到着順に部屋を割り当てていく。今回も一部屋に10人が詰め込まれた。山荘の立地条件から唐松山荘の混雑を避けて五竜山荘まで来たのだから、もっと楽に眠れるはずである。夕食後、下の部屋を覗き込んでみるとがらがらである。さっそく転がり込むことにした。結局、転がり込んだ部屋は8人になったがゆったりしたスペースであった。

明日も雨だろうか。天気予報では雨である。

明日のコースに八峰キレットがある。岩が濡れているとスリップ、滑落の危険が強まる。天候不良の場合は遠見尾根を下って神城に降りようとの結論にいたる。

青空が雲の間に間にのぞく。雲海が広がる。朝日が射し込んでくる。天候は回復の兆しを見せているのだろう。五竜岳への登山を開始する。

2814mの山である。岩山である。スリップしないように3点確保を基本に登っていく。山頂はガスのなかである。ますますガスは濃くなっていく。鹿島槍ヶ岳への縦走は中止し五竜岳への登頂後、引き返し遠見尾根を下ることにする。

鎖場を過ぎるとまもなく山頂であった。カメラのシャッターを押してもらおうが周りは全く見えないガスの中である。乳白色のやわらかさのなかにボーッと人影が浮かぶ。風はない。山頂の小石を一つポケットに入れると今来た道を引き返す。岩場にあっては登りよりも下りのほうが神経を使う。

下山途中に剣岳や日本海側の晴れた空が望める。昨日登った唐松岳も山頂は雲の中であるが展望はよくきく。

五竜山荘から白岳へと登り、遠見尾根へと歩を進める。五竜岳山頂のガスが飛んだ。鹿島槍ヶ岳の美しい双耳峰が雲海の上に浮かび上がる。失敗したなあとと思う。天候不純の時は行動の判断が難しい。今回は安全を見込んでエスケープルートで遠見へ下ったが、鹿島槍ヶ岳へとルートをとったら、すばらしい展望が望めたであろう。しかし、しかたがないことである。山は逃げはしない。再びやってくるだろう。今度は文句なしの晴天の日であることを願う。

1992. 8. 16. 記

## 後立山連峰登山計画書

日時: 02.8.12-8/15

コース: 八方→唐松岳→五竜岳→鹿島槍ヶ岳→爺ヶ岳→扇沢

入山者: 千葉県船橋市東船橋 3-23-6 北パークハイツ 203 岩井 淑 (43) Tel: 0474-22-5297

8/12・水 新宿 22:00 サミーツアー・白馬ルートA便(¥7000) 八方松電駐車場

8/13・木 八方松電駐車場 白馬山麓 八方山荘 黒菱 八方池山荘 八方山 唐松岳頂上山荘

07:00 ----- 07:20 ----- 08:00 ----- 08:20 ----- 09:00 ----- 10:00 ----- 12:40 -----

(朝食) (昼食)

---

唐松岳 唐松岳頂上山荘 五竜山荘 0261-72-2002

13:10 ----- 13:50 ----- 16:10

¥7000

8/14・金 五竜山荘 五竜岳 キレット小屋 鹿島槍ヶ岳南峰 冷池山荘 0261-22-1263

07:00 ----- 08:00 -----

¥7200

08:10 ----- 11:40

12:00 ----- 14:40

(昼食) 14:50 ----- 16:10

8/15・土 冷池山荘 爺ヶ岳南峰 種也山荘 扇沢出合 扇沢駅 大町温泉郷 信濃大町 新宿

07:00 --- 08:30

08:40 ----- 09:10

09:20 ----- 11:50 ----- 12:10

12:30 --- 13:00

13:30 --- 14:00

(昼食)

15:10 --- 15:35

15:50 ----- 20:10

(昼食)

サミーツアー白馬ルートA便(¥7000)